

2010年ワールドカップ特別連載

在南ア日本大使館
領事がつづる

南アフリカ通信

Vol. 6

文◎新保 剛



2010年のワールドカップ開幕まで、あと313日。
開催国の南アのことをよく知らない人も多いだろう。
現地在住の日本大使館領事から届くこのコラムで
生の南アフリカを見て、知って、本大会に備えよう！

●「デモ隊は踊り、警察は発砲する」●



▲デモ隊避けの盾と銃で武装する警察官。実弾ではなくゴム弾も発砲されたら負傷は免れない



▲プブゼラを吹きながら抗議デモを行なうケープタウンの労働者。楽しんでいるわけではない

に向かって行なわれるが、一部の参加者が過激行動に走るケースがある。7月末のデモでは、一部のデモ隊が路上にゴミをまき散らしたり、タイヤに火をつけたりの過激行動に走った。

5月に就任したズマ新大統領は労働組合に大きな支持基盤を持つ上に、貧者の味方とのイメージがある。ワールドカップ開幕まで1年を切った現在、新スタジアムや周辺道路の整備に巨額の投資が行なわれている。賃上げ要求などには絶好の機会だから、今後もデモは続くだろう。

もし、南ア滞在中にデモ隊に遭遇したら、すぐにその場を離れてほしい。日本のように、警棒と盾による警備ではないのだ。南アの警官隊は発砲する。実弾ではなく、ゴム弾を使うのだが、撃たれば負傷は免れない。当たりどころが悪ければ、命を落とす可能性も。また、混乱した群衆そのものも危険だ。巨大なおしくらまんじゅうに巻き込まれたり、倒れて踏みつけられて圧死ということもあり得る。くれぐれも注意してほしい。

著者プロフィール●一等書記官兼領事。06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップに向け、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp> 在南アフリカ日本国大使館 http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html